

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年5月31日)

- 1 ゴールデンウィークの主要観光施設等の入込客数について
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 広域観光周遊ルート形成計画の追加募集への対応について
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 平成30年度山陰デスティネーションキャンペーンの開催決定について
【観光戦略課】・・・3ページ
- 4 山陰地域限定通訳案内士の誕生について
【観光戦略課】・・・4ページ
- 5 平成28年度第1回国際交流拠点とっとり推進チーム会議の開催結果について
【観光戦略課】・・・5ページ
- 6 とっとり発クールジャパンフォーラム@まんが王国の開催について
【まんが王国官房】・・・7ページ
- 7 ワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会の事業計画について
【中部総合事務所・観光戦略課】・・・8ページ

観光交流局

ゴールデンウィークの主要観光施設等の入込客数について

平成28年5月31日
観光戦略課

ゴールデンウィークの主要観光施設等の入込客数を以下のとおりとりまとめましたので報告します。

1 対象期間

4月29日(金)～5月8日(日)の10日間 (昨年 4月25日(土)～5月6日(水)の12日間)

平成28年 (平成27年)	25日(土)	26日(日)	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	1日(金)	2日(土)	3日(日)	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	平日
------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	----

2 概況

【全体】

- 主要観光施設の入込人数は、約1万人(1.9%)の増加。
- 5月3日～5日は、3日、4日の強風による影響で各地点で減少。

【東部地区】

- 鳥取砂丘周辺については、昨年と比較し約2万1千人(10.7%)の減少。
- 砂の美術館の入館者は約9百人(1.9%)の減少。

【中部地区】

- 赤瓦(一号館)は約5百人(6.0%)の減少。
- 青山剛昌ふるさと館は約1千人(8.4%)の増加。

【西部地区】

- 水木しげるロードは約3万9千人(17.7%)増加。
- とっとり花回廊は約1千9百人(5.1%)の増加。

3 入館者数

(単位:人、%)

所在地	観光施設名	平成28年	平成27年	増減数	対前年比
東部	鳥取砂丘	108,165	123,078	▲14,913	87.9%
	内 5月3日～5日	48,064	65,404	▲17,340	73.5%
	砂の美術館	45,841	46,724	▲883	98.1%
	内 5月3日～5日	21,210	26,859	▲5,649	79.0%
	鳥取砂丘こどもの国	25,217	30,895	▲5,678	81.6%
	内 5月3日～5日	11,992	13,686	▲1,694	87.6%
	わらべ館	7,933	6,933	1,000	114.4%
内 5月3日～5日	3,729	3,993	▲264	93.4%	
中部	石谷家住宅	1,497	1,765	▲268	84.8%
	内 5月3日～5日	716	919	▲203	77.9%
	赤瓦(一号館)	7,380	7,855	▲475	94.0%
	内 5月3日～5日	2,915	3,890	▲975	74.9%
	青山剛昌ふるさと館	13,269	12,244	1,025	108.4%
	内 5月3日～5日	7,411	8,447	▲1,036	87.7%
	中国庭園燕趙園	3,221	4,211	▲990	76.5%
内 5月3日～5日	1,546	2,259	▲713	68.4%	
西部	水木しげるロード	258,149	219,360	38,789	117.7%
	内 5月3日～5日	124,559	127,397	▲2,838	97.8%
	夢みなとタワー	14,547	16,774	▲2,227	86.7%
	内 5月3日～5日	6,652	8,341	▲1,689	79.8%
	とっとり花回廊	38,150	36,283	1,867	105.1%
	内 5月3日～5日	16,720	16,897	▲177	99.0%
	大山まきばみるくの里	28,882	35,597	▲6,715	81.1%
内 5月3日～5日	12,861	15,476	▲2,615	83.1%	
合計	552,251	541,719	10,532	101.9%	
内 5月3日～5日	258,375	293,568	▲35,193	88.0%	

4 県内の宿泊状況

昨年度の集計期間より2日間短いですが、水木しげるロードでは、水木しげる先生が逝去されたことで再注目され入込客数が増加し、宿泊状況は堅調である。

(集計期間)H28年度:平成28年4月29日(金)～5月8日(日)の10日間, H27年度:平成27年4月25日(土)～5月6日(水)の12日間

	大手旅行サイト運営会社実績の平均(2社)
鳥取県全域	(前年比)+16.5%
鳥取市内エリア	(前年比)+0.8%
倉吉・三朝エリア	(前年比)+26.1%
米子・皆生エリア	(前年比)+21.3%

(皆生温泉旅館組合、三朝温泉旅館組合からの聞き取り)

- ・4/29～5/4の間は、ほぼ全ての宿泊施設が満室状態だった。それ以降は約7割ぐらいであった。
- ・5月3日、4日は、強風だったが天候自体はよかったので、キャンセルはほぼなかった。

広域観光周遊ルート形成計画の追加募集への対応について

平成28年5月31日
観光戦略課

4月26日に観光庁が行った広域観光周遊ルート形成計画の追加募集に対し、5月18日付で、山陰インバウンド機構より以下のとおり観光庁へ提出を行いましたので報告します。

1 申請主体：山陰インバウンド機構

2 申請エリア：鳥取県、島根県、萩市

外国人観光客への「山陰」の魅力の訴求効果を高めるため萩・津和野イメージアップ協議会とも連携して、萩・津和野地域まで含めた山陰エリアの観光ブランドのマーケティング、海外PR等を実施する。

3 ルート名及びコンセプト

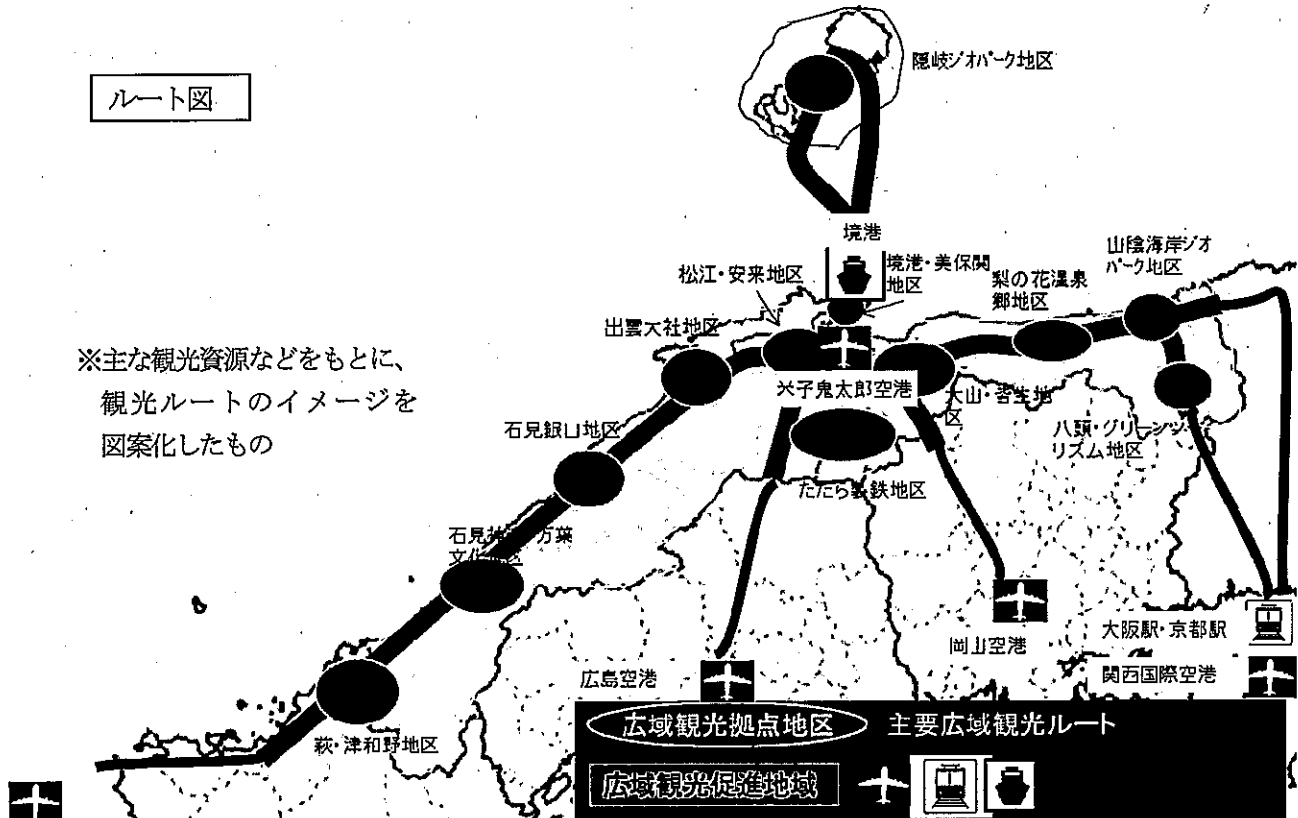
主題『縁の道～山陰～』（外国語訳 Route Romantique San' in）

副題『新たな発見 新たな出会い もうひとつの日本』

外国語訳 Make fantastic encounters. Discover another Japan.

コンセプト：日本人が大切にする「縁」にスポットをあて、日本の最も古い歴史を有する地域である山陰で、「神話」・「伝説」をテーマに山陰の「自然」、「歴史」、「文化」を体験する旅

ルート図



※主な観光資源などをもとに、
観光ルートのイメージを
図案化したもの

4 認定に向けた今後の予定

5月23日に実施された、有識者（「世界に誇れる広域観光周遊ルート検討委員会」観光庁設置）によるヒアリング（山陰インバウンド機構が説明）及び5月26日に開催された有識者会議の結果を踏まえて、追加認定されるルートが6月中に決定される予定。

認定された場合は、関係省庁の施策の集中投入、地域が推進する取組のパッケージ支援（広域周遊ルート形成にかかる事業費について、地方負担分と同額程度を国が支援）を受けることができる。

平成30年度山陰デスティネーションキャンペーンの開催決定について

平成28年5月31日
観光戦略課

JRグループと地元自治体、観光関係者等が一体となって実施する大型観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン(DC)」が、平成30年夏季に山陰(鳥取・島根)で開催されることが決定しましたので、以下のとおり報告します。

- 1 開催概要 ①開催地 鳥取県・島根県の全域
②開催期間 平成30年7月1日(土)～9月30日(土)

<参考>山陰におけるDC開催実績(過去5回)

昭和61年 8月～11月 「見つけてください、あなたの山陰」
平成9年 6月～8月 「山陰三昧～湯・海・食～」
平成15年 7月～9月 「見つけてください、あなたの山陰」
平成18年 4月～5月 「見つけてください、あなたの山陰」
平成24年 10月～12月 「ほっと一息 あなたの旅 山陰から」

- 2 今後の取組 鳥取・島根両県及びJR西日本、市町村、観光関連団体・事業者等と連携し、DCの成功に向けて、観光客の受入体制づくり等の取組を進めて行く予定。

時期	内容
平成28年度	・DC推進協議会(仮称)発足(予定) ・事業計画の策定
平成29年度	・全国宣伝販売促進会議の開催
平成30年7月～9月	・DC開催

3 その他

(1) デスティネーションキャンペーンについて

- ・JRグループ(北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州)と選定された自治体、観光団体等が協力して実施する全国規模の大型観光キャンペーン。全国で集中的な宣伝を実施し、開催県への送客を行うことで地域の活性化を図る。
- ・1978年(昭和53年)当時の国鉄と和歌山県が共同実施したものがスタートで、山陰地域では昭和61年に初めて開催して以来、今回で6回目の開催となる。

(2) 最近の開催(予定)状況について

	春	夏	秋	冬
H25	仙台市・宮城県	広島県	秋田県	京都市
H26	新潟県	山形県	和歌山県	京都市
H27	福島県	大分県	富山県・石川県・福井県	京都市
H28	岡山県	青森県・函館	長崎県	京都市
H29	四国	長野県	山口県	京都市

※毎年冬季(1～3月)には京都市で「京の冬の旅キャンペーン」を開催。

「明日の日本を支える観光ビジョン」 - 世界が動いた -

平成28年3月30日策定

これまでの議論を踏まえた課題

- CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
- 高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

- 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。

- 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。

「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改革」

視点1

「観光資源の魅力を極め、地方発生の動向」

- 「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放
 - ・ 赤坂や京都市の迎賓館などを大胆に公開・開放
- 「文化財」を、「保存優先」から観光客目線での「理解促進」、そして「活用」へ
 - ・ 2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化
- 「国立公園」を、世界水準の「ナショナルパーク」へ
 - ・ 2020年を目標に、全国5箇所の公園について民間の力も活かし、体験・活用型の空間へと集中改善

視点2

「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の競争優位性」

- 古い規制を見直し、生産性を大切にす観光産業へ
 - ・ 60年以上経過した規制・制度の抜本見直し、TPPの経営人材育成、民泊の整備、宿泊業の生産性向上など、総合パッケージで推進・支援
- あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現
 - ・ 欧州・米国・豪州や宿務などをターゲットにしたPVE-You、戦略的なビザ緩和などを実施
 - ・ MICE誘致・開催の支援体制を抜本的に改善
 - ・ 首都圏におけるビジネス・イベントの受入環境改善
- 疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化
 - ・ 2020年までに、世界水準DMOを全国100形成
 - ・ 観光地再生・活性化「アウト」規制緩和などを駆使し、民間の力を最大限活用した安定的・継続的な「観光まちづくり」を実現

視点3

「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を楽しめる環境」

- ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現
 - ・ 世界最高水準の技術活用により、出入国審査の風景を一変
 - ・ ストレスフリーな通信・交通利用環境を実現
 - ・ 非公式観光を実現
- 「地方創生回廊」を完成し、全国どこへでも快適な旅行を実現
 - ・ 「ジ・ポップ・ムーブ」を訪日後でも購入可能化
 - ・ 新幹線開業やJALのJAL航空運送等と連動した、観光地へのアクセス交通充実の実現
- 「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現
 - ・ 2020年までに、年次有給休暇取得率70%へ向上
 - ・ 家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化

トトリ発クールジャパン・フォーラム@まんが王国の開催について

平成28年5月31日
まんが王国官房

県とクールジャパン機構は、県内事業者による魅力ある商品やサービスの海外における需要開拓を行う事業活動等を促進するための支援に連携して取り組むため、本年3月25日に覚書を締結しました。

これを受けた取組の第一弾として、県内事業者により進められているまんが王国関連の取組事例をもとに、クールジャパン機構と連携したフォーラムを下記のとおり実施しました。

〔参考〕クールジャパン機構とは、正式名称を(株)海外需要開拓支援機構といい、日本の魅力ある商品・サービスの海外需要開拓に関連する支援・促進を目指し、2013年11月、法律に基づき官民ファンドとして設立された機関。

記

1 日 時

5月19日(木) 午後2時～4時

2 場 所

ガイナックスシアターbetty(米子市末広町311 イオン米子駅前店3階)

3 概 要

(1) 事業活動発表

テーマ	発表者	概要
フィギュアミュージアム構想	株式会社円形劇場 稲嶋正彦社長	現存する日本最古の円形校舎を活用して、日本のポップカルチャーであるフィギュアを国内外に発信する。
まもりがなプロジェクト	一般社団法人山陰コンテンツビジネスパーク協議会 長谷川泰二代表理事	「ひらがな」という日本独特の文字文化に着目して文字を擬人化。アニメ制作や日本語教育への活用などを模索中。
まんがを生かした食のブランディング戦略	一般社団法人山陰コンテンツビジネスパーク協議会 宇田川正樹副理事長	「食のみやこ鳥取県」としての地域資源(かに、梨、和牛等)をまんがによって擬人化・アニメ化し、コンビニの流通網を活用して販路開拓することを検討中。
ポップカルチャーを活用したまちづくり	倉吉市観光交流課 垣原将志主事	グッドスマイルカンパニーの国内初工場の誘致をきっかけに、ポップカルチャーによるまちづくりを進めている。

(2) クールジャパン機構事業説明

投資連携・促進グループ部長 宮尾 正浩

(3) 経済産業省中国経済産業局産業部流通・サービス産業課

コンテンツ産業支援室産業支援係長 山下 洋司係長

「経済産業省のコンテンツ海外展開に係る予算について」

(4) 参加者

コンテンツ産業関連民間事業者、行政職員など30名

(5) 参加者の主な意見

○県内のコンテンツ産業は事業規模が小さく、クールジャパン機構の投資基準ではとてもハードルが高いが、このフォーラムをきっかけに事例の磨き上げなど相談していきたい。

○一事業者のみの取組ではなく、海外展開する大手企業と連携する中で独自性を発揮していくことも大切であると感じた。

○経済産業省がコンテンツの海外展開を支援するJLOP補助金には非常に興味がある。鳥取県のジャパンエキスポ出展事例など参考にしながら相談したい。



ワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会の事業計画について

平成 28 年 5 月 31 日
中部総合事務所
観光戦略課

世界のウォーキング・トレッキング関係者が、歩く旅と自然保護の価値を共有し、ウォーキングによる健康・地域づくりとトレイルの保全・発展について話し合う国際会議「ワールドトレイルズカンファレンス (WTC)」の事業計画について、以下のとおり報告します。

- 1 開催日： 10月14日(金)～17日(月)
- 2 開催地： 鳥取県中部(主会場：倉吉未来中心)
- 3 主催： WTC鳥取大会実行委員会、ワールドトレイルズネットワーク
- 4 共催： 関西広域連合(広域観光・文化・スポーツ振興局)
- 5 後援： 一般社団法人日本ウォーキング協会、一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟、特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会 ほか
- 6 参加者： 延べ4,000人
- 7 テーマ： 「歩いて、癒やされる。」
- 8 内容： 記念講演、国際会議(シンポジウム、分科会)、企画展示、ウォーキング大会
- 9 日程：

日 時		内 容		
10/14 (金)	午後	関係団体総会		
	夜	歓迎レセプション		
10/15 (土)	午前	オープニング 記念講演(三浦雄一郎氏) 世界の取組とトレイルの紹介	ワールド ウォーク フェスタ in とっとり (1市4町 9コース)	企画展示 (スポーツ ツーリズム 関連の展示、 クライミング 無料体験等) ポスター セッション
	午後	分科会Ⅰ(ウォーキングと健康) 分科会Ⅱ(トレイル・ウォーキングと地域の活性化)		
	夜	交流会		
10/16 (日)	午前	ワールドウォークフェスタ in とっとり		
	午後	分科会Ⅲ(トレイルと文化・自然) 分科会Ⅳ(トレイルと国際マーケティング) クロージング		
10/17 (月)	終日	とつとりを歩こうツアー(山陰海岸ジオパーク、大山、三徳山三佛寺)		

10 併催イベント：

- (1) B級グルメフェア(鳥取県中部観光推進機構) 10/15(土)～16(日)
- (2) ノルディックウォーク全国研修(全日本ノルディック・ウォーク連盟) 10/15(土)～16(日)
- (3) トリバル in 倉吉(NPO法人未来) 10/13(木)～16(日)